

大牟田市立米生中学校

1 本校のESDの特徴

本校区は、大牟田市内でも高齢化率の高い地域であり、「誰もが安心して住めるまちづくり」を目指して様々な取り組みがなされている。本校生徒も積極的にその取り組みに参加するなど、地域との交流も盛んである。隣接する大牟田特別支援学校とは、昭和56年より年4回の交流を続けている。

また、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつ『三池炭鉱宮原坑』『三池炭鉱専用鉄道敷跡』がそばにあり、昨年度から世界遺産学習に取り組んでいる。

このような地域遺産に恵まれた環境において、地域と密接につながり、3年間を通した総合的な学習の時間（米生タイム）を中心に、『地域と共に生きる学習～福祉・世界遺産学習を軸に～』をテーマに、ESDの視点から「志を持ち、自ら考え行動できる生徒」の育成に取り組んでいる。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

4月 総合的な学習の時間及びESDについてのガイダンス（全校授業）			
学 年	福祉にかかわる学習	世界遺産(地域遺産)にかかわる学習	生き方にかかわる学習
1 年	特別支援学校との交流 七夕飾り交流・七夕交流 わくわく交流・クリスマス交流 認知症学習 ・絵本教室	世界遺産(地域遺産)について学ぶ ・地域の宝物を知り、広く発信 する 「宮原坑」「炭鉱専用鉄道敷跡」	いろいろな職業を知る ・職業調べ ・インタビュー
2 年	気仙沼市立松岩中学校との 福祉交流 ・福祉の取り組みについての 情報交換	世界遺産学習 ・「大牟田の宝」を世界へ発信！ ・京都での自主研修 ・「大牟田の宝」の広報活動	職場体験 自己の将来を考える 上級学校調べ
3 年	独り暮らし高齢者宅訪問 保育実習	世界遺産を通じた学習 「地域遺産を発信しよう！」	適切な自己アピール
生徒会 活動	・ユニクロ「服のチカラプロジェクト」 ・ユネスコ世界寺子屋運動「書きそんじハガキ」回収		
行事 その他	・イングリッシュセミナー「大牟田の宝50」の英語版作成 ・認知症SOSネットワーク模擬訓練への参加 ・地域行事への参加（カップ祭り、そうめん流しなど年間5回程度）・読み聞かせ ・地域の福祉施設へのボランティア（認知症カフェ・年末餅つき） ・地域との協働作業（通学路除草作業年2回・花壇の花植え） ・体育会、合唱コンクールへ地域の方々を招待（福祉施設・高齢者・幼稚園児招待）		

3 特徴的な活動事例

<生徒会：ユニクロ 届けよう「服のチカラプロジェクト」>

ポスター・回収Boxを作成し、近隣の小学校や公民館、地域へ呼びかけて、着なくなった子供服を回収し、世界中で困っている難民の子どもたちへ送った。今回、子供服「1743枚」を回収。

<1年：大牟田特別支援学校との交流(年4回)>

○目標：レクリエーションなどの交流活動を通して、関わりを深め互いを尊重する心・思いやりの心を育てる。



服のチカラプロジェクト

◇わくわく交流(10月)

グループに分かれ、司会進行、劇やゲームなどを自分たちで企画運営し、特別支援学校の生徒たちと楽しく交流した。



クリスマス交流

◇クリスマス交流(12月)

サンタやトナカイの衣装で、クリスマスツリーを飾り一緒に歌ったりゲームをしたり、お互いに手作りのプレゼントを交換して楽しんだ。

(生徒の感想)

- ・障害があってもなくても同じ中学生。一緒に楽しく活動ができたことがうれしかった。

<2年：世界遺産学習「私達の『大牟田の宝』を世界へ!」>

○目標：世界遺産「宮原坑」「炭鉱専用鉄道敷跡」の価値を学習し、地域との関わり、つながりを深めることによって、人々の思いや願い、地域の良さに気づき、それらを守り未来につなぐために、自分や地域の将来を考え行動できる。

○展開：炭鉱に関わった人々や地域の人々にインタビューし、思いや願いをつないでいくために自分達にできることを考え行動した。

- ・リーフレットを作成…世界遺産「宮原坑」、市内各所、修学旅行(京都)で配布
- ・「花いっぱい、笑顔いっぱい」プロジェクト…地域の方々と花壇に花を植えて、気仙沼市立松岩中学校へひまわりの種を送った。
- ・ユネスコスクール子どもサミットでの発表…E S Dの取り組みを地域へ発信した。

(生徒の感想)

- ・自分達のまち「大牟田」に誇りをもつことができ、今まで以上に地域の方々に感謝の気持ちが深まった。



手作りのリーフレット



「ユネスコスクール子どもサミット」での発表の様子

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域との「関わり・つながり」が広がり深まったことで、自分達の住む地域に誇りを持ち、地域の方々の思いや願いを大切につないでいきたい、もっと私達の大牟田を明るく元気な町にしたいと、自ら考え行動しようとする姿がみられるようになった。
- ・リーフレットを海外にも発信したいと英語の学習に取り組んだり、もっと世界遺産について知りたいと世界遺産検定を受検したりするなど学習意欲が高まった。

○課題

- ・ユネスコスクールとして活動している小・中・高との交流を深めるとともに、国内の中学校との交流を進めていく。